

研究計画書

1 研究課題名

「もの忘れ外来」を受診された患者における認知機能の検討

2 研究機関および代表研究者氏名

春日井市民病院 神経内科 寺尾心一

3 研究の概要

1) 研究の目的と意義

アルツハイマー型認知症を代表とする認知症患者は確実に増加しており、2025年には700万人を超えると予想され大きな社会問題である。また昨年3月の改正道路交通法で運転免許に関わる問題もある。当科では2013年10月から「もの忘れ外来」を開始し約5年が経過したが、現在まで年間約500名の初診患者が受診されている。年齢とともに認知機能が衰え、病気なのかどうか不安心配で受診される場合が多いが、もの忘れ症状がありご家族同伴で受診されても、症状・経過や家庭生活環境など背景は多彩である。一方でアルツハイマー型認知症など疾患の認知機能低下の進行・経過についても不明な点が多い。「もの忘れ外来」を受診された患者の認知機能検査や画像検査などの結果から、認知症性疾患の進行経過を含めて、病態を明らかにすることが患者診療では重要であると考えます。

2) 対象と方法

対象は2013年10月以降に当科「もの忘れ外来」を受診された患者である。カルテ記載されている病歴・問診票や神経症候・検査所見などについて後方視的に解析する。

3) 臨床研究における倫理的配慮

患者の人権・安全性および福祉に対して配慮するとともに、患者のプライバシーを尊重し機密保持に努めます。学会発表や学術論文においては患者を特定できるような情報は含めません。なお、「もの忘れ外来」を受診され、ご家族への問診票No.2の⑭検査結果などを今後の研究に使ってもよろしいですかの質問で、いいえにチェックされた方は本研究から除外させていただきます。この内容をご覧になり、研究対象となることに同意されないと連絡された方には研究に含めません。本件にご質問のある方は下記にご連絡ください。研究協力に対して謝礼が支払われることはありません。

4 本研究に関する連絡先

春日井市民病院 神経内科 寺尾心一

電話番号 0568-57-0057 (代表)